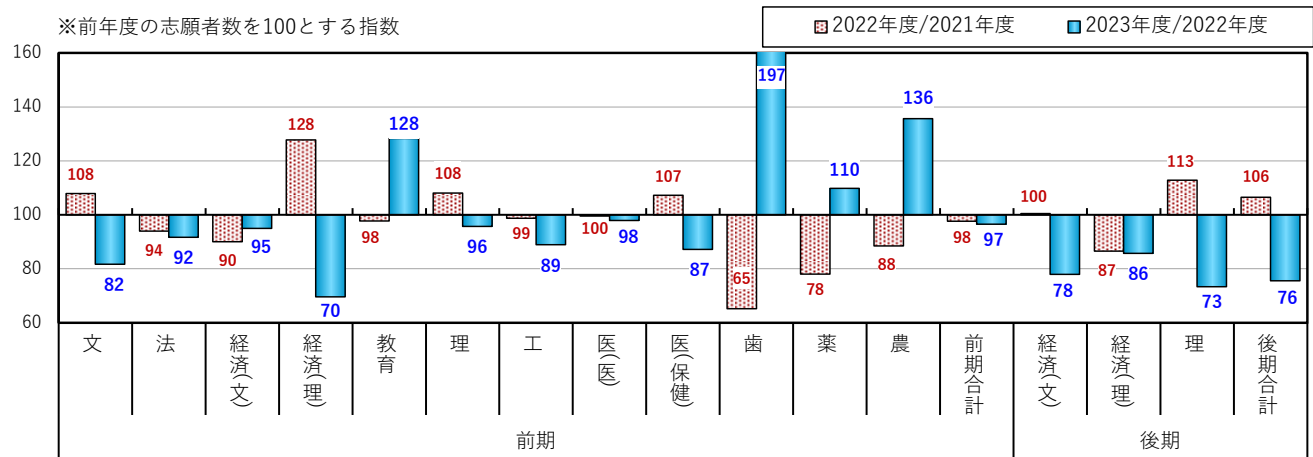


東北大：前期は2年連続減少で増加は4学部、後期は大幅減少 前期：-153人 後期：-325人



COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は、153人(97)のやや減少で2年連続減少。文理別では、文系は87人(93)のやや減少で5年連続減少、理系は66人(98)の微減だが2年連続減少。増加は4学部のみ。後期は、325人(76)の大幅減少で、2学部がいずれも減少。

<前期日程>

- 文(82)は、大幅減少で前年度の反動による増減が継続。系統への低い人気もあって、志願者数は350人を下回り、募集人員が147人になった2021年度以降では最少。
- 法(92)は、減少で3年連続減少。志願者数は300人を下回り、募集人員が112人になった2021年度以降では最少。
- 経済(92)は、2年連続減少。方式別では、(文系)(95)はやや減少で2年連続減少。志願者数は募集人員が147人になった2021年度以降では最少。(理系)(70)は2年連続大幅増加の反動で大幅減少。志願者数は新設された2020年度とほぼ同数。
- 教育(128)は、3年連続減少の反動で大幅増加。
- 理(96)は、前年度増加の反動でやや減少。
- 工(89)は、前年度微減に引き続き減少。志願者数は1,400人を下回り、募集人員が567人になった2016年度以降では最少。
- 医(医)(98)は、微減だが募集人員が77人になって以降は3年連続減少。志願倍率は3.1倍で第1段階選抜実施予告倍率約3倍を超えたことで、第1段階選抜が実施されたが、合格率は97.5%と選抜は緩かった。
- 医(保健)(87)は、2年連続増加の反動で減少。専攻別では、(保健/放射線技術科学)(111)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(保健/看護学)(75)は、前年度40%以上大幅増加の反動で大幅減少。(保健/検査技術科学)(94)はやや減少だが、志願倍率は3.2倍で第1段階選抜実施予告倍率約3倍を超えたことで第1段階選抜が実施され、合格率は93.8%だった。
- 歯(197)は、前年度大幅減少および3年連続減少の反動で、倍増近い大幅増加。志願倍率は2.0倍→4.0倍にアップ。
- 薬(110)は、前年度大幅減少の反動で増加。
- 農(136)は、大幅増加。志願倍率は2006年度以来17年ぶりに3倍を上回った。前年度減少の反動に加え、食糧問題等への関心の高まりから系統への高い人気も継続したことも影響。

<後期日程>

- 経済(79)は、前年度の微減に引き続き大幅減少。方式別では、(文系)(78)は大幅減少、志願倍率は18.1倍→14.1倍へダウンし、3年ぶりに15倍を下回った。(理系)(86)は、2年連続減少。
- 理(73)は、前年度増加の反動で大幅減少。さらに、一橋大(ソーシャル・データサイエンス)<後>の新設により、理系の前期難関大志願者の後期併願先が増えたことも影響。この結果、志願倍率も14.6倍→10.7倍へダウン、理系では理のみの募集となった2008年度以降では最低倍率。